

# 出水期を迎えるにあたっての対応

2026年5月

## はじめに

市では、毎年6月から10月末までの「出水期」は、前線や台風の影響などにより、河川が急に増水し、洪水が発生しやすいため、警戒を強めています。

このため、市は、国及び県と連携しながら、万一の場合に備えて対応を行いますが、各区におきましても、自主防災組織を中心に、区内の防災体制を確認のうえ、防災資機材の点検や周辺の危険箇所の把握等について対応をお願いします。

また、区民の皆様にも、知っておいていただきたい事項をこの冊子に取りまとめましたので、周知・啓発いただきますようお願いします。

避難情報を確認してください！

市では、洪水や土砂災害などが発生するおそれがある場合に、河川の水位や災害状況に応じて、警戒レベルを付して市民の皆さんへ避難を呼びかけています。

○警戒レベル5 「緊急安全確保」

- 状況：災害発生又は切迫
- 取るべき行動：命の危険 直ちに安全確保

すでに安全な避難ができず、命が危険な状況です。

建物の2階以上の高いところで山側から遠い部屋などで、直ちに安全確保してください。

警戒レベル5「緊急安全確保」は、災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、必ずしも発令される情報ではありません。

○警戒レベル4 「避難指示」

- 状況：災害のおそれ高い
- 取るべき行動：危険な場所から全員避難

危険な場所にいる場合は、必ず安全な場所へ全員避難を開始してください。

警戒レベル4  
「避難指示」  
で必ず避難



○警戒レベル3 「高齢者等避難」

- 状況：災害のおそれあり
- 取るべき行動：危険な場所から高齢者等、避難に時間のかかる人は避難

避難に時間のかかる高齢者や障害のある人などは、安全な場所へ避難を開始してください。

高齢者等以外の人、必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

「警戒レベル」とは…  
災害発生の危険度と、  
とるべき避難行動を、皆  
さんが直感的に理解する  
ための情報です。  
災害発生の危険度が高  
くなるほど数字が大き  
くなります。

警戒レベル

4 危険な場所から全員避難!!

警戒レベル

3 危険な場所から高齢者等は避難!!

※令和3年5月20日に避難勧告は廃止されました

警戒レベル	避難情報等	避難行動等
5 大雨特別警報に相当	<b>緊急安全確保</b> 注：必ず発令されるものではありません。	すでに <b>安全な避難ができず命が危険な状況</b> です。 命を守るための <b>最善の行動</b> をとりましょう。 「警戒レベル5」の発令を待ってはいけません。
～ 警戒レベル4までに必ず避難! ～		
4 氾濫危険水位に相当 土砂災害警戒情報に相当	<b>避難指示</b> 危険な場所から <b>全員避難</b>	<b>速やかに安全な場所へ避難</b> しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。
3 避難判断水位に相当 大雨・洪水警報に相当	<b>高齢者等避難</b> 危険な場所から <b>高齢者等は避難</b>	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその <b>支援者</b> は避難をしましょう。 その他の人は、避難の準備を整えましょう。
2	<b>大雨・洪水注意報等</b> (気象庁が発表)	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの <b>避難行動を確認</b> しましょう。
1	<b>早期注意情報</b> (気象庁が発表)	災害への心構えを高めましょう。

避難情報		居住者等がとるべき行動等	
【警戒レベル5】 緊急安全確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>●状況：災害発生又は切迫</li> <li>●取るべき行動：命の危険 直ちに安全確保</li> </ul> <p>すでに安全な避難ができず、命が危険な状況です。建物の2階以上の高いところで山側から遠い部屋などへ、直ちに安全確保してください。</p> <p>警戒レベル5は、災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から必ずしも発令される情報ではありません。</p>		
~~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~~			
【警戒レベル4】 避難指示	<ul style="list-style-type: none"> <li>●状況：災害のおそれ高い</li> <li>●取るべき行動：危険な場所から全員避難</li> </ul> <p>危険な場所にいる場合は、必ず安全な場所へ全員避難を開始してください。</p>		市 が 発 令
【警戒レベル3】 高齢者等避難	<ul style="list-style-type: none"> <li>●状況：災害のおそれあり</li> <li>●取るべき行動：危険な場所から高齢者等は避難</li> </ul> <p>避難に時間のかかる高齢者や障害のある人などは、安全な場所へ避難を開始してください。</p> <p>高齢者等以外の人も、必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。</p>		
【警戒レベル2】 注意報	<ul style="list-style-type: none"> <li>●状況：気象状況の悪化</li> <li>●取るべき行動：自らの避難行動の確認</li> </ul> <p>・防災マップにより自宅の災害リスク、避難場所や避難経路、避難のタイミング等を再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認・注意するなど、避難に備え自らの避難行動を確認してください。</p>		
【警戒レベル1】 早期注意情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>●状況：今後気象状況の悪化のおそれ</li> <li>●取るべき行動：災害への心構えを高める</li> </ul> <p>・防災気象情報等の最新情報に注意する等、災害への心構えを高めてください。</p>		

参考：大雨特別警報発令時の行動

「大雨特別警報」とは、数十年に一度の大雨が予測され、その地域に重大な危険が差し迫ったときに発表されます。そのため、特別警報発表後は屋外で活動してはいけません。気象庁では、平成25年8月30日から運用しています。

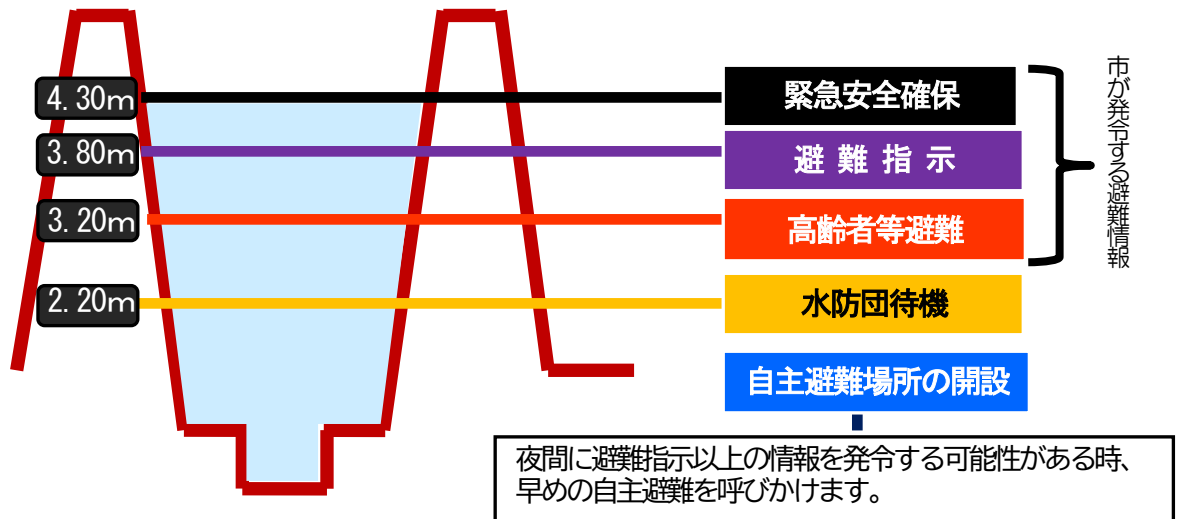
区分	取るべき行動
市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民に大雨特別警報が発令されたことを周知する。</li> <li>・避難指示以上を発令する。水平避難が危険な状態であれば、警戒レベル5「緊急安全確保」を発令し、市民に直ちに命を守る行動を求める。</li> <li>・市職員、消防団員に現場から撤収を指示する。</li> </ul>
消防団	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市から撤収の指示を受けるか、大雨特別警報の発表を知った時点で、周囲への避難の呼びかけと、現場から撤収し身の安全確保を図る。</li> </ul>
自主防災組織	<p>【警戒レベル4 避難指示が発令されたとき】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・危険な場所（災害想定エリア）にいる市民は、直ちに避難を開始する。</li> </ul>
市民	<p>【警戒レベル5 緊急安全確保が発令されたとき】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋内にいる市民は、建物の2階以上に退避する。</li> <li>・屋外にいる市民は、直ちに活動を中止し、周辺建物の2階以上に避難する。何れも山とは反対側の部屋で過ごす。</li> </ul>

## 河川水位の危険レベルと避難情報について

災害の危険が高まると「警戒レベル3 高齢者等避難」を発令します。

さらに危険が迫ると「警戒レベル4 避難指示」を発令します。

また、夜間に避難指示以上の情報を発令する可能性がある場合は、明るいうちに自主避難場所を開設し、「早めの自主避難」を呼びかけます。



避難情報の基準となる矢根水位観測所の水位

### 【注意】

台風や豪雨、長雨などによる増水時に、河川や田畑の様子を見に行くことは大変危険ですので、絶対にしないでください。

# 避難の考え方

『避難』とは、「難」を「避」けることです。すなわち、災害リスクから命を守る行動です。

感染症等の感染拡大が懸念されるときは、避難場所が「密」となる状態を防ぐため、自宅での安全確保が可能な方は感染リスクを負ってまで避難場所に行く必要はありません。

安全な自宅、安全な親戚や友人の家に分散して避難することをこれまで以上に積極的に検討してください。ただし、「在宅避難」や「分散避難」が困難な方は迷わず避難場所へ避難してください。



## 「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です

- ① 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない  
(入っていると…)



流速が早い場合、木造家屋は倒壊するおそれがあります



地面が削られ家屋は建物ごと崩落するおそれがあります

- ② 浸水深より居室は高い

3・4階	5m～10m未満 (1階床上浸水～4階軒下浸水)
2階	3m～5m未満 (2階床上～軒下浸水)
1階	0.5m～3m未満 (1階床上～軒下浸水)
1階以下	0.5m未満 (1階床下浸水)

- ③ 水がひくまで我慢でき、水・食糧などの備えが十分  
(十分じゃないと…)

水、食糧、薬等の備えが困難になったり、電気、ガス、水道、トイレ等の使用ができなくなるおそれがあります



※①家屋倒壊等氾濫想定区域や、②水がひくまでの時間(浸水継続時間)はハザードマップに記載がない場合がありますので、お住いの市町村へお問い合わせください。

※豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。やむをえず車中泊する場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分に確認して下さい。

事前に避難行動の確認をしましょう。[平時に確認しておくこと]

自然災害に対しては、自らの判断で避難行動をとることが原則です。

防災マップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認し、自宅や学校・職場等にはどのような危険があるのか、指定緊急避難場所はどこなのか等について、あらかじめ確認・認識しておきましょう。

避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？

防災マップで自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

確認してください!!



家がある場所に色がぬられています

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

市が推奨する避難行動

防災マップでは、災害の危険性に応じ、浸水の深さ、家屋倒壊危険区域、土砂災害警戒区域などに分けて、それぞれ推奨する避難行動を設定しています。

自宅周辺を確認して、安全に避難できる場所を探しましょう。

○あなたの自宅はどの区域？推奨される避難行動は？

区域	あなたの避難行動
浸水深 0.5m未満の区域	自宅に留まる
浸水深0.5m～3m未満の区域	2階があれば自宅2階以上に留まる
浸水深 3m～5m未満の区域	区域外への早めの避難 3階があれば自宅3階に留まる
浸水深 5m以上の区域	区域外への早めの避難
家屋倒壊危険区域	区域外への早めの避難
土砂災害特別警戒区域	区域外への早めの避難

【避難が遅れた場合】  
屋外移動をあきらめて自宅の2階以上(山側から離れた部屋)で命を守る

※家屋倒壊危険区域でなくとも、堤防の近くに住んでいる人は早めの避難を行う。

区域外へ避難の方は、「安全な親戚や知人宅」や「市の指定緊急避難場所」などへ避難する。

ご自身または一緒に避難する方は、避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

はい

いいえ

**警戒レベル3**が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう(日頃から相談しておきましょう)

**警戒レベル3**が出たら、市の指定緊急避難場所に避難しましょう

**警戒レベル4**が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう(日頃から相談しておきましょう)

**警戒レベル4**が出たら、市の指定緊急避難場所に避難しましょう

## 備蓄について

### 防災リュック（非常持ち出し袋）

○リュックサックなどに入れて持ち出すやすくしましょう。

非常持ち出し袋
飲料水
食料品（缶詰、ビスケット、チョコなど）
携帯トイレ
懐中電灯またはヘッドライト
防災行政無線受信機、予備乾電池
雨カッパ、レインウェア、濡れにくいクツ
防寒着、手袋、帽子
貴重品（マイナ保険証など）
レジャーシート
スマートフォン、充電器、モバイルバッテリー
薬、お薬手帳

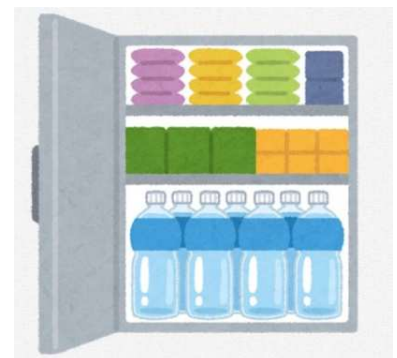


### 家庭での備蓄

○最低3日分を確保しましょう。

水が引くまでの間の食料、水の備蓄だけでなく、電気、ガス、水道が止まった場合のことを考え、備蓄してください。

備蓄品
非常食 3日分 (できれば1週間)
飲料水 1日3ℓ×3日=9ℓ (できれば1週間)
乾電池、携帯用バッテリー
懐中電灯、ヘッドライト
携帯用トイレ
カセットコンロ



※リストに記載があるもの以外にも状況や環境に応じて備蓄をお願いします。

### ■ 備蓄のコツ その①【ローリングストック】

普段から日持ちのする飲み物や食糧、それに日用品を多めに買い置きしておき、賞味期限が近づいたものから使って、その分を買い足していく方法です。

### ■ 備蓄のコツ その②【フェーズフリー】

身の回りにあるモノやサービスを、日常はもちろん、災害時にも利用する考え方。日常的に活用できるものが、実は防災にも役立つ！という発想で、キャンプ用品の利用、土鍋でご飯を炊く、EVやPHVの車に乗る、というのも「フェーズフリー」の実践例です。



## 災害・防災の情報収集

市は、円山川などの水位情報予測に合わせて避難情報を発令しますが、各地区内の個別箇所の浸水状況をすべて把握することはできません。そのため、市の避難情報を待たずに避難することも必要になります。市の避難情報だけでなく、自主防災組織で地区内における状況の把握に努めるようお願いいたします。

市内の気象情報や雨量情報、河川の水位情報、その他必要な情報を自ら進んで入手しましょう。

情報取得先		二次元バーコード
1	豊岡市防災マップ URL : <a href="https://www.city.toyooka.lg.jp/bosai/1019913/bosaimap/index.html">https://www.city.toyooka.lg.jp/bosai/1019913/bosaimap/index.html</a>	
2	気象庁ホームページ URL : <a href="http://www.jma.go.jp/jma/index.html">http://www.jma.go.jp/jma/index.html</a>	
3	川の防災情報 国土交通省からの雨量や河川の水位情報が入手できます。 URL : <a href="https://www.river.go.jp/index">https://www.river.go.jp/index</a>	
4	『ひょうご防災ネット』メール版 災害時の防災行政無線の放送内容がメールで届きます。 URL : <a href="http://bosai.net/toyooka/">http://bosai.net/toyooka/</a>	
5	『ひょうご防災ネット』スマートフォンアプリ版 アプリをダウンロードすることで、緊急地震速報等の災害情報や 災害時の防災行政無線の放送内容が受信できます。	(Android用) 
		(iPhone用) 
6	YouTube 円山川 奈佐川 出石川 Live配信 リアルタイムでの河川カメラの映像を確認できます。 一定時間でカメラの映像が切り替わります。 URL : <a href="https://www.youtube.com/watch?v=Rlop5uAB11g">https://www.youtube.com/watch?v=Rlop5uAB11g</a>	
7	兵庫県地域別土砂災害危険度 土砂災害の危険度が高まっている地域が確認できます。 URL : <a href="http://sabo.civil.pref.hyogo.lg.jp/chiiikidosya/">http://sabo.civil.pref.hyogo.lg.jp/chiiikidosya/</a>	
8	防災行政無線 市から防災情報を放送します。 ※停電や移動に備え、乾電池を入れておき、年に1回電池交換を行うようお願いいたします。	

## 防災・減災に関わる補助制度等

防災、減災に役立つ市の補助制度等を紹介します。各種補助等の詳細はホームページ、または担当課にお問い合わせください。

### 【豊岡市補助金】

No	補助制度等の名称	二次元コード
1	自主防災組織等資機材整備事業補助金 URL : <a href="https://www.city.toyooka.lg.jp/bosai/1019917/1007374.html">https://www.city.toyooka.lg.jp/bosai/1019917/1007374.html</a> 担当：危機管理課 TEL 23-1111 (代表)	
2	(1) 豊岡市住宅土砂災害対策移転支援事業補助金 (2) 豊岡市住宅土砂災害対策防護壁等整備支援事業補助金 URL : <a href="https://www.city.toyooka.lg.jp/kurashi/tochijutaku/jutakuoshirase/1007323.html">https://www.city.toyooka.lg.jp/kurashi/tochijutaku/jutakuoshirase/1007323.html</a> 担当：建築住宅課 TEL 21-9018	
3	(1) 簡易耐震診断推進事業 (2) 住宅耐震改修補助金制度 URL : <a href="https://www.city.toyooka.lg.jp/kurashi/tochijutaku/jutakuoshirase/1001010.html">https://www.city.toyooka.lg.jp/kurashi/tochijutaku/jutakuoshirase/1001010.html</a> 担当：建築住宅課 TEL 21-9018	
4	要援護世帯雪下ろし援助事業 URL : <a href="https://www.city.toyooka.lg.jp/koreisha/koreifukushi/1001920.html">https://www.city.toyooka.lg.jp/koreisha/koreifukushi/1001920.html</a> 担当：高齢者支援課 TEL 29-0055	

## 2026年5月29日から気象情報の発表が変わります

河川の氾濫の危険度などの気象情報の発表が変わります。

※詳しくは、気象庁、国土交通省のホームページをご覧ください。

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル 1	早期注意情報			

- ◎ 警報・注意報の情報名に「レベル」が付記されます。
- ◎ 「警戒レベル4相当」の情報は「危険警報」として発表されます。
- ◎ 従来の「洪水警報」「洪水注意報」は廃止されます。  
 今後は河川の区分に応じ伝え方が変わります。

【変更例】 (旧) 「洪水警報」  
 → 【洪水予報河川(円山川、出石川)】 (新) 「レベル3氾濫警報」  
 → 【洪水予報河川以外の河川】 (新) 「レベル3大雨警報」

お問い合わせ：豊岡市役所危機管理部危機管理課 電話：0796-23-1111  
 但東振興局地域振興課 電話：0796-21-9032